



山形県青少年育成県民会議の活動にご理解とご協力をお願いします

4月 FM山形 「キッズガードキャンペーン」への協賛

毎年4月から5月に行われているエフエム山形の「RhythmStationキッズガードキャンペーン」に今年度も協賛し、県内小学校新入学児童全員への「あんぜん・あんしんガイドブック」の配布を支援しました。

また、番組内のキャンペーン啓発スポット放送では、「子どもたちを狙った声かけが山形県内でも起きているんだ！子どもたちを守るため、普段からの挨拶でコミュニケーションをとろう。山形県青少年育成県民会議は、地域の子どもたちを見守ります。」などと放送されました。



～これからの予定～

- 7月** 令和7年度`明るいやまがた、夏の安全県民運動出発式（7月22日（火）県庁講堂ほか）
- 9月** 第64回山形県少年の主張大会（9月17日（水）山形県生涯学習センター「遊学館」）
- 10月** 山形県青少年健全育成県民大会（10月26日（日）荘銀タクト鶴岡）
- 10月** いじめ・非行防止セミナー（10月26日（日）荘銀タクト鶴岡）
- 11月** 青少年のための環境づくり懇談会
- 11月** 地域の大人のためのインターネット利用に関する研修会

その他啓発活動を実施予定です。
上記の開催結果などは次号（54号）にて掲載予定です！

山形県青少年育成県民会議入会のお願い

当会議では、次世代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動を展開しています。活動や趣旨にご賛同、ご協力いただける新規会員の方を募集しております。 **☆現在の会員数（1,188名） 令和7年5月末現在**

【特別会員】

全国共済農業協同組合連合会
山形県本部、全国農業協同組合連合会山形県本部、高橋畜産食肉㈱、出羽三山神社、（一社）山形県建設業協会、山形放送㈱（敬称省略・50音順）

【賛助会員】※今回掲載できなかった賛助会員の方は次号に掲載いたします。

石澤義久、（一財）三友堂病院、（一社）山形県経営者協会、伊藤康則、f（山形テレビ）、遠藤商事㈱、大井建設㈱、小形アカデミーホーム㈱、置賜建設㈱、学陽学園、㈱天野左官、㈱エイアンドシー、㈱エフエム山形、㈱エルム、㈱王祇建設、㈱大風印刷、㈱オランダ、㈱加藤紙器、㈱きらやか銀行、㈱黒田組、㈱主婦の店鶴岡店、㈱荘内銀行、㈱菅原工務所、㈱テレビユー山形、㈱トー屋、㈱トガシス、㈱ナウエル、㈱ニコニ白鷹、㈱平尾工務店、㈱平山孫兵衛商店、㈱マル中、㈱丸定、㈱三奥屋、㈱山形銀行、㈱山口製作所、㈱ヤマコー、㈱ヤマザワ、㈱山本製作所、㈱渡会電機土木、國井建設㈱、（公社）山形県看護協会、齋藤千恵子、最北地区少年補導員連絡協議会、蔵王米菓㈱、坂部印刷㈱、佐藤登美税理士事務所、社会福祉法人白鷹会愛真こども園（敬称省略 50音順）

問合せ
申込み先

山形県青少年育成県民会議事務局（多様性・女性若者活躍課内）
TEL：023-630-2727
FAX：023-632-8238



☆会員の種類と年会費

特別会員（103万円） 賛助会員（105千円）
団体会員（101千円） 個人会員（101千円）

活動の内容などは
こちらから▶
会員登録は
「メニュー」→
「会員登録」の申込
フォームから



見守る目・育む芽 53

2025年
[令和7年]7月号

目次

- P1 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動、「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動／青少年の安全で安心な社会環境の整備
- P2・3 山形県青少年育成県民会議総会報告
- P4 お知らせ

大人が変われば
子どもも変わる

運動の内容

- あいさつ・見守り運動
- モラル・マナーの向上運動
- 子どもを事故や犯罪等から守る運動

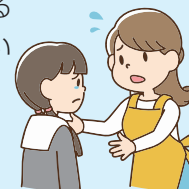
「子どもは社会を映す鏡」
大人が良い手本になろう！



運動の基本方針

- 学校、家庭、地域が連携し、みんなでいじめ・非行を許さない社会づくりを進めていこう。
- いじめを受けて悩んでいる子どもたちが相談しやすい環境をつくっていこう。

みんなで取り組もう!!



いじめ・非行をなくそう
やまがた県民運動

青少年の安全で安心な社会環境の整備

青少年の被害や非行を防ぐには…

ネットには危険がいっぱい

スマートフォンの普及に伴い、SNSに起因して犯罪被害にあった児童の数は高い水準で推移します。
また、SNS等の掲示板には短期間で高収入が得られるという甘い言葉で『闇バイト』に勧誘する投稿が掲載されています。
トラブルに巻き込まれないためにも、フィルタリングサービスを活用し、SNS利用について家族でルールを作りましょう。



違法薬物は絶対ダメ

若年層を中心とした大麻の乱用拡大が問題となっております。
SNS等では『大麻は依存症がない』などの誤った情報が流れています。
大麻成分入りのキャンディーやクッキーなどの食品が流通されていることもあり、興味本位で口にして救急搬送されたケースもあります。
誤った情報に流されて取り返しのつかないことにならないよう正しい知識で判断することが大切です。



毎年7月は青少年の被害・非行防止全国強調月間です

今年度における最重要課題として、
・ インターネット利用における
こどもの性被害等の防止



重要課題として、

- 1 有害情報への適切な対応
- 2 薬物乱用対策の推進
- 3 不良行為及び初発型非行（犯罪）等の防止
- 4 再非行（犯罪）の防止
- 5 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動及びその被害への対応と位置づけし、各種活動を展開しております。



山形県青少年育成県民会議『令和7年度総会』

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の展開とさらなる取組みを決議

令和7年5月30日（金）に、山形県青少年育成県民会議令和7年度総会が開催されました。

総会では、令和7年度の役員（案）、令和6年度の事業・決算報告とともに、令和7年度の事業・予算（案）について審議が行われ、すべての議案が参加者の皆様の賛成により承認されました。

今後、承認された令和7年度事業計画に基づき、各種事業を進めてまいりますので、皆様からの御支援と御協力をお願い申し上げます。

総会概要

午後1時30分、井上常任理事の進行により開会しました。

はじめに、柿崎会長から、「青少年を取り巻く現状は依然として事件やトラブルが発生している。県民会議が推進の主体となって関わっている「大人が変われば子どもも変わる」県民運動、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動をさらに充実、強化していくことが求められている。」と挨拶がありました。



▲高橋副知事からの祝辞

続いて、来賓の高橋徹副知事、榎津博士副議長、須貝英彦教育長から御祝辞をいただきました。

議事に移り、役員の選任、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の活動方針や事業計画、収支予算などについて協議を行い、提案された全ての議案が承認されました。



▲柿崎会長の挨拶



▲会場の様子

令和7年度活動方針

少子・高齢化、情報化、国際化が急速に進展し、青少年を取り巻く環境が多様化・複雑化しています。こうした中、県では今年3月に「山形県こども・子育て笑顔プラン」を策定し、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる山形県の実現に向けた取組みを進めております。

このような社会状況や県の施策の方向を踏まえて、①心身を健やかに育む、②社会力を育成する、③社会参加、社会的自立を促す、④社会環境の浄化の4点を活動の方向とし、次の重点事項に積極的に取り組んでまいります。

重点事項

- ① **いじめ・非行防止に係る取組みの一層の推進**
 - ・青少年が主体的にいじめ問題と向き合い、その解決を考える取組みを関係機関と一体的に推進する。
- ② **地域の実践活動の強化、促進**
 - ・市町村民会議、県地区青少年育成連絡協議会の活動や人材育成を支援する。
- ③ **青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進**
 - ・青少年の健全育成の理解を促進するため情報発信の強化などを図る。
 - ・青少年を地域で見守り、育み、支援する。
 - ・インターネットの安全・安心な利用を啓発する。

令和7年度予算

（単位：円）

1	県民会議運営事業	9,134,000
2	県民運動総合推進事業	3,506,000
	(1) “いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動	(2,520,000)
	(2) 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動等地域社会環境づくり推進	(986,000)
3	青少年育成意識醸成・環境づくり推進事業	965,000
	(1) 明るいやまがた夏の安全県民運動等	(55,000)
	(2) 青少年健全育成県民大会開催等	(210,000)
	(3) 少年の主張大会開催	(700,000)
4	広報啓発事業	91,000
	(1) 機関紙等の発行	(80,000)
	(2) 啓発活動	(11,000)

令和7年度役員

会 長	柿崎 則夫	
副会長	宮田 浩一	伊藤 康則
	山口 和夫	小松 功
常任理事	長岡 好永	
	齋藤 法明	井上 達也
	奥山 勝弘	齋藤 芳昭
	笹原 茂隆	青山 幹夫
	阿部 正博	古沢 和明
理 事	長谷川 吉之介	
	後藤 道子	武田 幸太郎
	松村 昌子	佐藤 博之
	辻原 吉子	沢口 肇
	鈴木 昌克	町田 裕俊
	菊地 幸二	荒生 卓真
	三上 仁	鈴木 隆一
	伊藤 富美	石井 靖雄
	飯野 典朗	渡邊 宏徳
	遠藤 智子	
監 事	橋本 善彦	安達 喜代美

柿崎会長からのメッセージ



社会の少子高齢化の進展や目まぐるしく変化する環境の中、これからの社会を担う青年、子どもたちの育成がこれまでにないくらい重要性が増していると実感しています。しかしながら、いじめ・貧困・虐待のほか、青少年が犯罪やトラブルに巻き込まれる事件も後を絶たない現状にあると思います。

私も微力ながら、力を尽くしてまいりますので、皆様方からの御指導・御協力を心からお願い申し上げます。

感謝状の贈呈



永きに渡り、県民会議の常任理事として活動していただきました菊地元宏様が昨年度を持ちまして御勇退されました。

御功績に改めて敬意を表し、感謝状を贈呈させていただきました。

菊地様には今後の御活躍をお祈り申し上げますとともに、引き続き、青少年の成長を支えてくださいますようお願い申し上げます。